

<(1)～(さ)せる①>

■文を考えましょう。

例) 笑<sup>わら</sup>う → 先生は冗談<sup>じょうだん</sup>を言<sup>い</sup>って、学生たちを笑<sup>わら</sup>わせました。

1) 笑<sup>わら</sup>う →

2) 泣<sup>な</sup>く →

3) 怒<sup>おこ</sup>る →

<(1)～(さ)せる②>

■子どものときのことを話してください。

例) A: 子どものころ、よく母を心配<sup>しんぱい</sup>させました。

B: そうですね。どんなことをしたんですか。

A: よく木に登<sup>のぼ</sup>ったり、川で泳<sup>およ</sup>いだりしていました。Bさんはどうでしたか。

B: . . .

<(1)～(さ)せる③>

■会話を考えましょう。

例) <誕生日<sup>たんじょうび</sup>パーティー>

→ A: ニックさんの誕生日<sup>たんじょうび</sup>パーティーどうする?

B: ニックさんをびっくりさせたいね。

A: そうだね。ニックさんの家族を招待<sup>しょうたい</sup>したら、びっくりするんじゃない?

B: それから、みんなで歌を歌うのは(どう)?

A: いいね。そうしよう。ニックさんの好きな歌は何かな?

:

練習) <結婚<sup>けっこん</sup>パーティー or Freestyle>